

NEC匠塾

体験ボランティア合宿
実施報告

「NEC匠塾」事務局
公益社団法人日本フィランソロピー協会
2011年10月

体験ボランティア合宿

目的 : ボランティア活動を体験し、ボランティア活動の意義、地域と福祉施設の関わりなどについて学ぶ

日程 : 2011年9月16日(金)~17日(土) 1泊2日

参加人数 : 6名

実施内容 : ①オリエンテーション
②利用者との共同作業
③利用者との交流会
④懇親会
⑤利用者との朝食
⑥地球農援「テラファーム」での農作業

アテンド : 日の出太陽の家ボランティアセンター

久保田 武男 氏

日の出太陽の家について

法人名 : 社会福祉法人太陽福祉協会 日の出太陽の家

基本理念 : 「一人ひとりが太陽に」

設立 : 昭和62年

創設者 : 中島 正清

所在地 : 東京都西多摩郡日の出町大久野5107

施設種別 : 知的障害者入所施設

職員数 : 20名

プログラム①

オリエンテーション

- ・なぜ「障害」が生じるのか
- ・日の出太陽の家の取り組み
 - ★地球にやさしい施設～有機無農薬栽培、利用者の給食、堆肥づくり
 - ★ボランティアの拠点づくり～企業人、外国人“SAMURAI HOUSE”
 - ★地域に開かれた施設へ～バザー、野菜直販、陶房 など



利用者との共同作業(9/16)

歩行訓練: ひまわりグループ

農園作業: ファーマーズグループ

陶芸で使う粘土づくり: サンセラグループ



プログラム③

交流会(9/16)

利用者の皆さんと一緒に「ガンダーラ」「YMCA」



夕食・懇親会 (9/16)



朝食 (9/17)

食卓には有機無農薬野菜のおかず



【メニュー】

ごはん

みそ汁

きんぴらごぼう

ハンペンのなめ茸ソース掛け

お茶

プログラム④

地球農援テラファーム(9/17)

EMボカシづくり(生ごみをEM菌によって発酵させた肥料)



ボカシは1個200円で販売

宿泊場所：通称「武家屋敷」

「日の出太陽の家」の敷地内にある古民家。

地域のボランティアの研修施設、宿泊施設として活用。

由来：明治時代、富豪・古山氏が7年の歳月をかけて建築した
庄屋風建築。「武家屋敷」は戦後、高級料亭として
使われたときの呼び名

施設：1階6室54畳 屋根裏部屋48畳一室
いろいろ部屋、厨房、トイレ
お茶室（静林庵）





近くにある陶房

いろり部屋

